

# CASBEE<sup>®</sup>広島

(2010年ver. 1)

## 評価結果

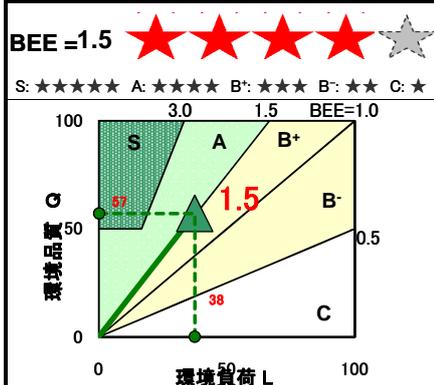
■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

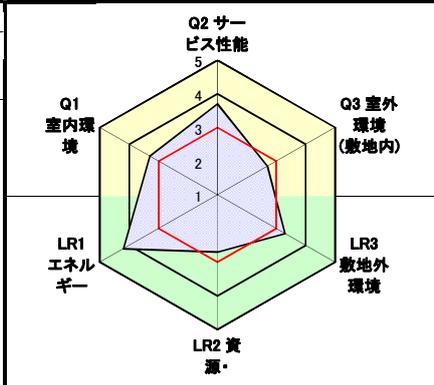
| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |            |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称     | (仮称)パークホームズ上幟町       | 階数     | 地上14F      |
| 建設地      | 広島市中区上幟町9-10他        | 構造     | SRC造       |
| 用途地域     | 近隣商業地域、準防火地域         | 平均居住人員 | 182 人      |
| 気候区分     | 地域区分IV               | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途     | 集合住宅                 | 評価の段階  | 実施設計段階評価   |
| 竣工年      | 2012年5月 予定           | 評価の実施日 | 2010年6月25日 |
| 敷地面積     | 978 m <sup>2</sup>   | 作成者    | 藤原 暁       |
| 建築面積     | 542 m <sup>2</sup>   | 確認日    | 2010年6月25日 |
| 延床面積     | 5,831 m <sup>2</sup> | 確認者    | 服部 幸雄      |

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

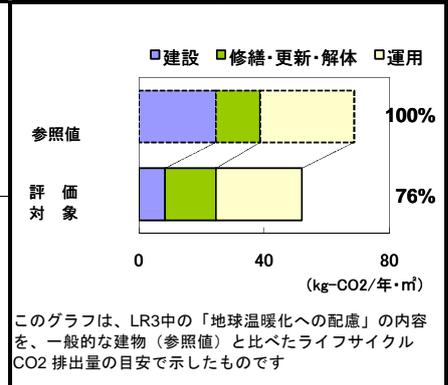
### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



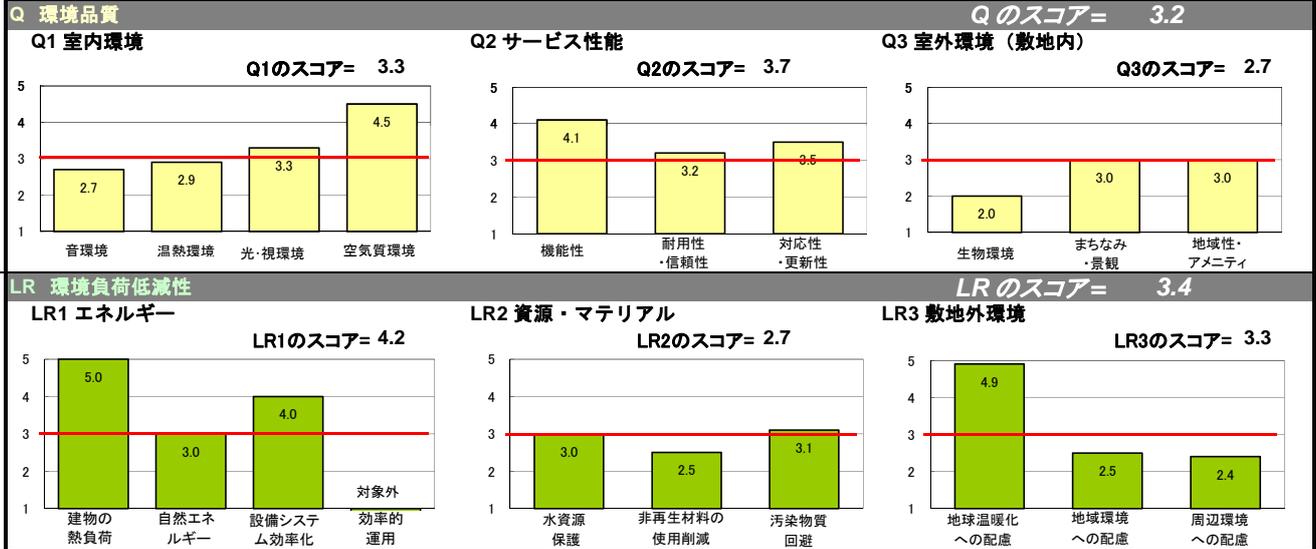
### 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



### 2-4 中項目の評価(バーチャート)



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

| 「地球温暖化対策」の推進  | 「ヒートアイランド対策」の推進  | 「長寿命化対策」の推進  |
|---|--|--|
| スコア = 3.6   | スコア = 2.3  | スコア = 3.4  |
| <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>熱橋断熱を床・天井・壁に適切に施し、LOW-Eガラスを使用した複層ガラスとすること等により、住宅性能評価の省エネルギー対策等級4の基準を満たす仕様とした。/ 建物をL型配置にし逆梁工法を採用することにより、大きな開口部を取り、良好な自然採光及び通風を確保した。/ 建物全体の8~9割近くの照明設備をLED照明とした。/ 節水器具を仕様することにより建物全体として節水できるようにした。/ コンクリートの水セメント比を50%以下、かぶり厚の適切な数値以上を確保するなどし、住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている | <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>敷地内の道路境界線側に出来る限り植栽を施した。/ エレベーター・ベンチを採用し、適切な駐車台数を確保している | <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>コンクリートの水セメント比を50%以下、かぶり厚の適切な数値以上を確保するなどし、住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている。/ 建物地下にピットを作り、設備配管の維持管理をし易くするなどし、住宅性能評価の維持管理対策等級(共用配管)2(専用配管)3の規定を満たしている |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される